

相好体操クラブ 暁高校3年

岡村真さん



県内で活動する「相好体操クラブ」に所属する岡村真さんは昨秋、中国・杭州で開かれたアジア競技大会の体操女子種目別平均台で金を、個人総合と女子団体に銀メダルを獲得。パリ五輪代表入りに向け、大きなステップを踏みました。

内村航平さんの美しい体操に憧れて

ロンドン五輪（2012年）で男子個人総合金メダルに輝いた、内村航平さんの美しい演技に憧れて、小学1年生で体操を始めました。着地をピタッと止める内村さんの姿がとてもかっこいいと思い、相好体操クラブの津教室に入会しました。中学2年の時には、全国中学校体操競技選手権大会の個人総合2位に入ることができました。

今は、クラブの四日市教室で週に6日、午後

4時から9時まで練習に励んでいます。学業との両立は大変ですが、体操が好きなのでやりがいがあります。

得意種目の平均台をもっと磨きたい

得意種目は平均台です。高さ125センチ、幅10センチの上での演技で、最初は怖かったです。滑らかなリズム、バランス、ターンを披露するのがこの種目の魅力だと思います。中でも、180度開脚し、片足を軸に回転する「イルージョン」という演技を得意技にしています。360度回り切るのは難しく、落下につながる不安もあるのですが、もっと技を磨いて着実に点数につながるようにしていきたいです。

力を出し切れたアジア競技大会

大会を経験して良かったことは、海外の選手の技の仕掛け方、表現などに刺激を受けたことです。自分になかったものも見つかりました。大会では力を出し切れて自信になったのですが、平均台以外ではまだまだ上の選手には及ばない部分も感じました。悔しい気持ちもあり、やるべきことはいっぱいあると思っています。

「美しい体操」を心掛け五輪代表へ

体操競技の魅力は、自分の体を使って普通では考えられないような難しい技を披露し、個性を表現できることです。これからも繊細でダイナミックな、観客に魅せる「美しい体操」を心掛けていきたいです。

春からパリ五輪日本代表の選考試合が続くので、皆さんに応援していただけると嬉しいです。



昨年のNHK杯、ゆか種目の演技



金メダルを下げて森市長を表敬訪問



練習場でポーズを決める岡村さん

1月放送のCTY-FM「よっかいち わいわい人探訪」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)